

令和7年度伊予農業高等学校農業教育振興協議会
総会開会にあたり、挨拶を申し上げます。

本日は、御多忙のところ、多数の皆様に御来校いただき、本当にありがとうございます。

4月より伊予農業高等学校の校長として着任しました永井伊秀と申します。大洲農業高校より転勤してまいりました。よろしくお願いします。

本協議会におかれましては、平成26年に発足しましてから長年に渡り、本校の教育活動にご理解をいただき、多大なご支援いただいておりますこと誠に感謝申し上げます。

本校には6つの学科がありますが、それぞれの特徴を生かして、地域の皆様との交流を今までも、そして今年度もいろいろと計画しておりますので、今後とも御協力の程よろしくお願い申し上げます。

現在、県立学校では、愛媛県県立学校振興計画の前期計画が進行しており、私が3月まで勤務していた大洲農業高校では、今年度が1～3年生が揃う最後の年度で来年度から大洲高校との統合が始まります。県内の農業関係高校では、北宇和高校三間分校が今年度から募集停止になったほか、丹原高校園芸科学科は東予総合高校アグリデザイン科、川之石高校総合学科生物

生産系列は八幡浜高校総合学科グローバル農産系列、宇和高校生物工学科は総合学科アグリビジネス系列に改編、新たに、しまなみ高校に総合学科「アグリビジネス系列」が新設されるなど、大きな教育改革が始まっています。

本校は4月に216名の新入生を迎え、596名の全校生徒で新年度がスタートしています。振興計画の対象とはなっていませんが、定員に達していない学科もあり油断は禁物です。つまり、今まで以上に魅力ある学校、学科として、愛媛県の農業高校をリードする学校として活動していくことが、本校に課せられた使命であると思っています。

こうした状況を踏まえ、本協議会の委員の皆様には、今後とも本校の教育活動につきまして御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。開会の挨拶といたします。